

【第 18 回「蕨の会」甲州散策の旅：第二日目】
甲州散策に参加して

小山田秀士（7 組）

この度、「蕨の会」甲州散策に、ゲストとして参加させていただきました。昨年、同会で真田を案内したことからお声がかかったのかなと思います。

二日目の 4 月 10 日は、昨日の身延山久遠寺の石段 287 段の疲れをとってくれた美酒の残り香を朝風呂で洗い流して、甲府市内の観光に出発しました。

甲府駅に隣接する舞鶴城公園の甲府城跡では、立派な石垣と満開の桜に見とれながら天守閣跡に登れば甲府盆地が一望です。武田の城かと思いきや、秀吉の命で浅野長政が築城し、徳川時代は柳沢吉保などの居城となりました。霊峰富士を拝んで階段を下りて来ると、保育園年長組の子供たちが駆け上がり下り様を見て、あんな時代もあったよなーと感慨にふけたところです。

（写真右、甲府城跡、上原君撮影）

武田神社と躰躰ヶ崎館跡では、さざれ石や大手虎口や枡形虎口などを見ながら往時を偲び、散策しました。宝物殿で



は信玄の風林火山の旗や、強者どもの長槍、甲冑などを見ました。軍費を支えた甲州金の実物もあって、武田氏滅亡後もこの貨幣制度は江戸幕府に引き継がれ、貨幣制度の端緒を創ったことなど、興味深く見学しました。

（写真左、武田神社）

この日の昼食は郷土料理のほうとうトリモツのセット。美味しくて、朝食でご飯をお替りしたのに完食しました。

甲斐善光寺では、日本一の鳴き龍の下で何度もその反響を確かめました。

長野の善光寺にもあるお戒壇巡りは左回りで、如来像の真下でいろいろお願いをしました。



今回の甲府散策には、御代田から何度も甲府に来ていて「戦国三代と天下人」を上梓している市村到君（4組）もゲスト参加していて、ドライバーとして案内と解説をしてくれました。

当初予定になかった近くの東光寺に案内され、武田義信公と諏訪頼重公の墓を見学しました。小さな五輪塔が隣り合って静かに建っていました。

最後は連歌発祥の地、酒折宮（神社）に案内されました。

日本武尊やまとたけるのみことが東征の帰途、ここで《新治筑波を過ぎて 幾夜か寝つるにいばり》と問うたのに《かがなべて 夜には九夜 日には十日を》と唱和したのが連歌のはじめとかで、多くの文人墨客が訪れているそうです。

高台にあるシャトー酒折ワイナリーでは、ブドウの種類、醸造方法の説明や製造現場の案内をしてもらい、試飲をした後、皆さんが甲州ワインを購入しました。

初日の到着時に甲府駅で人身事故があり、予定より少し遅れたくらいでトラブルも無く、幹事の関賢治君（2組）のしっかりとした計画で甲府探索を堪能しました。

そろそろ、287 段の疲れが出てくるのではないかと心配しながら、楽しかった思い出を書いてみました。



甲斐善光寺三門（右から二人目が筆者、上原君撮影）

（2025 年 4 月 14 日記）

以上